

清風の望月勇希が選抜優勝



第37回全国選抜高校テニス大会(福岡・博多の森テニス競技場/砂入り人工芝)は最終日の27日、男女個人戦準決勝と決勝、個人戦の閉会式が行われ、男子決勝は望月勇希(清風)が恒松優也(大成)を 6-3, 7-5 のストレートで下し、優勝を果たした。

男子決勝は団体優勝校の四日市工、島袋将を下した恒松優也(大成)と団体準優勝校の相生学院、大島立暉を下した望月勇希(清風)の対戦となった。

望月勇希のサービスで始まったこの試合、序盤は両者ブレークから始まる。

しかしその後は望月の攻撃的なテニスの前に恒松は防戦を強いられる。

第2セットも望月が1ブレークアップで試合を進め 5-4 と、サービング・フォー・ザ・チャンピオンシップを迎える。セカンドサービスからエースを決めるなどし 40-0 とチャンピオンシップポイントが訪れるがここで集中力を切らし恒松に5ポイント連取されブレークされる。

しかし、ここで気持ちを切り替えた望月が第11ゲームをブレーク、第12ゲームをしっかりキープし優勝を果たした。

個人戦決勝と準決勝の結果は以下の通り。

【男子決勝】

●恒松優也(大成) vs. ○望月勇希(清風), 3-6, 5-7

【男子準決勝】

●島袋将(四日市工) vs. ○恒松優也(大成), 4-6, 1-6

○望月勇希(清風) vs. ●大島立暉(相生学院), 6-1, 6-0 望月勇希は全米オープンジュニアの予選出場資格を手に入れた。

tennis365.net より